

## 第2章 京成本線（京成津田沼～京成上野）

### 第1節 谷津～京成西船

2023年1月21日（土）晴れ、昨日に引き続き、京成電鉄（PDF 読本第47編）に加え、千葉モノレール（第50編）や都営浅草線（第51編）の整理を、次の通り自宅から一筆書きのルートを辿りながら、”歩き鉄”と”乗り鉄”の2面からリベンジする。

自宅～中央林間～（小田急）～新宿～（JR 総武線）～千葉～（千葉都市モノレール）～京成千葉～（京成電鉄）～（都営浅草線）～中延(17:49)～（東急）～中央林間～自宅(19:27)

#### <歩き鉄>

各駅の到着時刻は次の通り。

谷津（13:43）～船橋競馬場前(14:00)～大神宮下(14:13)～京成船橋(14:39)～海神(15:25)～京成西船(16:06)

①千葉寺駅～谷津駅の区間を乗り鉄でフォロー後、谷津駅から京成西船橋駅までの区間（営業キロ6km）をリベンジする。この区間は2006年12月23日（土）踏破済みであるが駅舎画像がないことが判明し本日の再歩きとなった。14号線に沿って淡々と歩いた先に船橋競馬場駅（14時）があった。14時2分、14号線（船橋市宮本）で東京21km、市川7kmと表示した地点を通過。暫く歩き、この道路から右折し50m入り込んだ先に大神宮下駅（14時13分）があった。14時18分、鉄道下を潜り、鉄道の右側となる。14時30分、介護有料老人ホームがあった。この界限からJR線を右手にする。複数の駅改札口がる京成船橋駅には14時39分到着。沢山の人の姿があった。



※谷津駅



※船橋競馬前駅



※大神宮下駅



※京成船橋駅への路



※京成船橋駅

②14時45分、鉄道下を潜り、鉄道の左側となる。急にJR線沿いの歩きにビックリする。運よく、15時13分、JR線や京成本線を跨いで行く女性の方に出会い、海神駅への道筋を教えて頂く。分かりやすい先まで案内頂く。この界限は、撮り鉄ファンが多いとのことであった。PRチラシを手渡し、御礼を言って別れる。海神駅には15時25分到着する。



※海神駅への路



※海神駅

③くねくねした道筋を歩く。15時31分、袋小路にぶつかる。15時36分、幹線道路に合流する。15時37分、京成本線を下を潜り、谷津駅で歩いた14号線の交差線（15時40分）に到達。右折し14号線を歩いた先に山野浅間神社（15時43分）があった。遅まきながら本日の安全を祈願する。15時53分、武蔵野線を潜る。そして道なりに歩いた先にJR船橋駅や東葉高速鉄道西船駅（15時56分）があった。ここからくねくねした道筋を歩いた先に京成西船橋駅（16時6分）があった。これで通算営業キロは**1万4千139 km（活動日数697日、日本の鉄道の51.0%、地球円周の35.3%）**となる。運よく16時8分発の電車で上野駅に移動し、京成本線の東中山駅や京成八幡駅など駅舎2画像がない駅を乗り鉄でフォローする。



※くねくねした路を歩く、山野浅間神社、武蔵野線



※JR船橋駅、京成本線踏切



※京成西船橋駅



※京成西船駅

<乗り鉄>

一駅舎2画像がない駅を乗り鉄でフォローする。

○京成電鉄



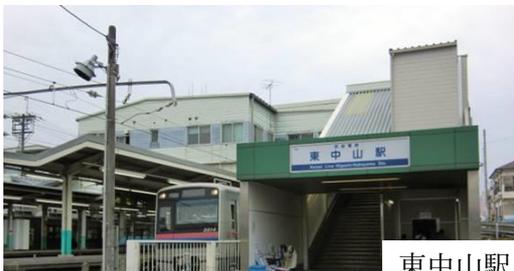
※菅野駅 16 : 24

## 第2節 京成西船～高砂

京成千葉線踏破後（2010年6月26日（土））、京成西船駅まで移動。

京成西船(13:45)～東中山(14:00)～京成中山(14:15)～鬼越(14:34)～  
京成八幡(14:52)～菅野～市川真間(15:26)～国府台(15:44)～江戸川(16:18)～  
京成小岩(16:45)～京成高砂(17:33)

西船駅には13時45分到着。この駅は予想に反して賑やかでなかった。酔っ払い気味の通行人の姿があった。ここから高砂まで9.5km内に11個の駅が介在。すなわち、1km以内に駅舎が登場する。それ故、余り風景を楽しく余裕がなかった。鉄道の上を走る道路を通り、京成線の右側に出る。その先に東中山駅（14時）があった。駅前には中山競馬場行きのバスが駅前に停車していた。



東中山駅



中山駅

中山駅には14時15分到着。駅間隔が短いので結構忙しい。14時22分、右折の方向に印西・鎌ヶ谷（59号線）の道路標識を見つける。鬼越（おにごせ）駅には14時34分到着。この駅前で踏切を横切り、鉄道の右側に出る。線路に沿って行った先に八幡神社（やわた：14時48分）があった。八幡1号踏切を横切る。その先に京成百貨店に面し

て駅舎がある八幡駅（14時52分）があった。この駅から真っ直ぐ行った先に JR 線本八幡駅があった。



鬼越駅



八幡駅

京成八幡駅から菅野駅までの営業距離 900m を忘れて歩いたため、本日唯一の菅野駅の踏破を逸す。市川真間（まま）駅には 15 時 26 分到着。この駅前には賑やかだった。900 m 先の国府台（こうのだい）駅には 15 時 44 分到着。



市川真間駅 国府台駅



市川関所跡



江戸川駅

この駅は江戸川の近郊にあった。この辺りで小雨を少し感じるようになる。傘をさす。

この辺りで江戸川に遮られ、この橋をどう渡るかを土手まで出て検討する。300m位先に橋を見つけ安堵する。江戸川に沿った土手に市川関所跡（16時1分）を見つける。16時4分、江戸川を渡る橋手前に到着。この橋は市川橋で、私の万歩計で746歩（揖斐川766歩）あり。東京側の中州には四面野球の練習グラウンドがあった。そのうち、2面を使って練習がなされていた。川を渡った先に江戸川駅（16時18分）があった。この近郊には北野神社があった。ぼつり雨から小雨模様となる。



京成小岩駅



北総線

京成小岩駅には16時45分到着。この駅から1.8km先の高砂駅（17時33分）にかけて方向を誤る。JR小岩方面に向うおうとする。その関係で数人に道を聞きながらの歩きとなる。少なくとも15分位はロスする。本日は全く地図を見ないで歩いたこともある。この近郊はかつて千葉ニュータウンに勤務していたことで多少油断があったのかも知れない。この辺りは中川等も絡み複雑な地形をしているところは確かだが。高砂駅には高架で北総線に接続している。道を聞いた際、柴又（北総線の駅）という地名も出てきた。高砂駅前にはイトーヨーカー堂の店舗があった。沢山の買い物客で賑わっていた。17時46分発の上野行きで自宅を目指す。朝の同じダイヤを使用。町屋18時13分の千代田線に乗る。自宅には19時50分到着。本日の営業キロは14.8km、万歩計は40,248歩だった。



高砂駅



### 第3節 京成本線(京成高砂～京成上野)

～プラス 北総鉄道(新柴又～京成高砂)

プラス 京成金町線(京成金町～京成高砂)～

2023年1月31日(火)晴れ、北総線(新柴又～京成高砂:営業キロ1.3km)、京成金町線(京成金町～京成高砂:2.5km)そして京成本線(京成高砂～京成上野:12.7km)についてリベンジする。これらの路線も22年前歩いたが、明確な証跡がないため本日の再挑戦となった。手順としては、北総線の仕上げ後、電車で京成高砂から京成金町まで移動し、京成金町～京成高砂～京成上野と丁寧に駅舎立ち寄りをした。本日の歩きにより、北総鉄道(印旛日本医大～京成高砂)のつたい歩きリベンジが無事完了。また、京成鉄道に関しては、京成成田～芝山千代田と拡張路線(印旛日本医大～成田空港)となった。この区間は飛行場の関係から歩ける区間と歩けない区間があるので、調査の上挑戦したい。更に、新京成電鉄の不備区間の整理を要する。上手く行けばあと2日間でリベンジが完了する。これらの作業が終了すれば、待望の”日本横断歩き鉄の旅”PDF読本の第47編が執筆できる。2月に第33編として予定している予土線(宇和島～窪川:77.8km)やくろしお鉄道(窪川～宿毛:66.6km)の旅の前までに完了させたいものだ。





## ※京成上野駅

今日は少し大回りとなったが、小田急線と山手線を乗り継いで上野まで移動。そこから京成本線を乗り継いで、先日アップした新柴又駅まで移動し、本日の歩きとなった。広大な JR 上野駅から京成上野駅までの移動には苦勞した。お陰様で複雑な上野駅の構造が、みどり生命時代上野駅界限に勤務した関係もあり、京成上野駅・アメヤ横丁・アトレの位置関係を含めた構造図がやっと頭に入る。本日も地元の人々の応援を得て、無事全駅舎立ち寄りに成功する。これで通算営業キロは、**1万4千178km(活動日数 699日、日本の鉄道の51.2%、地球円周の35.4%)**となる。各駅舎の立ち寄り時刻は次の通り。

新柴又(10:15)～京成高砂(10:39)、京成金町(11:01)～柴又(11:27)～京成高砂(11:45)～青砥(12:10)～お花茶屋(13:12)～堀切菖蒲園(13:38)～京成問屋(14:11)～千住大橋(14:40)～町屋(15:30)～新三河島(15:48)～日暮里(16:30)～京成上野(17:22)

※下線は京成本線での対象外の路線を示す。

## <北総鉄道> 新柴又～高砂

旅日記初富割愛

## <京成金町線> 京成金町～京成高砂

旅日記初富割愛

## <京成本線> 京成高砂～京成上野

③11時50分より、万歩計で327歩ある高砂橋（中川）を渡る。12時2分、京成本線を潜り、鉄道の右側となる。暫く歩いた先に青砥駅（12時10分）がある。この駅は1月20日（金）に立ち寄った残像が強く脳裏にあった。駅ビルにある”飛騨高山らーめん”に立ち寄りランチタイムとする。



青砥駅への路



※高砂橋にて



※青砥駅への路



※青砥駅、飛驒の高山らーめんランチ

④お花着茶屋駅（13時12分到着）や堀切菖蒲園駅（13時38分到着）への道筋は、それぞれ幹線道路に沿った先にあった。ただ取り過ぎないように用心して歩くことを余儀なくされた。綾瀬川と荒川に跨る堀切橋（950歩）は13時46分より渡る。200m先にある橋を何便かの電車が通過して行く。14時、東武鉄道のスカイツリーラインを跨ぐ。この境界で京成本線（上側）と東武スカイツリーライン（下側）で合流する。この境界は、2022年11月2日（水）スカイツリーライン仕上げの際立ち寄ったのでその残像が強くあった。京成関屋駅には14時11分到着。都道461号線（墨堤通り）を潜り、鉄道の右側となる。14時27分、東武鉄道下を潜る。左手には京成電鉄が上側、東武鉄道が下側で交差していた。



※お花茶屋駅



※堀切菖蒲園駅



※堀切橋



※京成関屋駅

⑤日光街道（国道4号線）と墨堤通りの交差点を左折する。14時38分、稲荷神社（神徳）で本日の安全を祈願する。その先に千住大橋駅（14時40分）があった。駅から直角に歩いた先に千住大橋があった。この橋を渡る手前に交番があった。念のため町屋駅への道筋を教えてください。わざわざ地図を出して頂き、町屋駅への分かりやすい道筋を教えてください。「千住大橋を渡った先で隅田川に沿って歩くと、京成線にぶつかります。そして鉄道に沿って歩いた先に町屋駅があります」と、親切丁寧に教えてください。この交番のお陰で、多少大回りの道筋である”荒川都電線”つたい歩きを回避できる。また、風光明媚な隅田川土手沿いを歩け、感謝の気持ちで一杯となる。14時58分より、万歩計で155歩ある千住大橋（隅田川）を渡る。そして、隅田川土手を歩き、15時17分、京成本線にぶつかる。千代田線、荒川都電線が合流する町屋駅には15時30分到着する。お陰で20分位当初の予定より到着時刻を短縮できる。



※前方に東武鉄道、稲荷神社



※千住大橋駅



※奥の細道標識、千住大橋



※隅田川土手を歩く



※町屋駅への路



※町屋駅

⑥町屋の街並みが続く高架下を歩く。淡々の歩いた先に新三河島前歩道橋（15時45分）があり、この陸橋を渡った先に新三河島駅（15時48分）があった。暫く歩くと、常磐貨物線の日暮里八丁目3号踏切があり横切る。16時1分、京成瀬を潜り、鉄道の右側となる。16時4分、千代田線やJR線の西日暮里駅があった。その先で袋小路にぶつかる。京成線下を潜り鉄道の左側となる。その先で常磐線の金杉踏切を横切る。間もなく歩くと舎人ライナー・山手線・京浜東北線・京成線が合流する日暮里駅には16時18分到着。そして、階段を10m位上がった先に京成線の日暮里駅（16時30分）があった。そして暫く歩いた先で100m位先に鶯谷駅があったが、立ち寄りにはパスする。



※新三河島駅への路



※新三河島駅



※日暮里駅への路



※西日暮里駅、日暮里駅



※日暮里駅

⑦ここから京成上野駅への道筋は長かった。途中、日比谷線の入谷駅を經由。そしてJR線の上野駅の入谷改札口前を經由し、みどり生命時代通勤で利用したパンダの展示

がある入谷出口に出る。ここからみどり生命上野本社がある懐かしいビルが見えてくる。広場を經由し、鉄道を跨ぐ。そして、JR線に沿って歩いた先に京成上野駅（17時22分）があった。近くにはアメヤ横丁通りや上野駅と隣接するアトレがあった。これで、京成本線のリベンジを完了する。アトレの中を經由し中央改札口に立ち寄り、2月16日からの四国の旅の乗車券・特急券を購入後、山手線と小田急線を活用し、家路に向かう。大人の休日倶楽部活用の際し、時間を要した関係で自宅到着は20時10分となった。面白いコースを終日堪能でき充実した一日となった。



※京成上野駅への路



※上野駅入谷口



※みどり生命本社を背後に



※アメヤ横丁、京成上野駅



※京成上野駅、JR 上野駅



※アトレを歩き、上野駅中央改札口へ